

## 令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：秋田県大潟村

協定締結日：令和2年(2020年)3月31日

活動状況：継続中

連携先窓口：秋田県・大潟村・総務企画課企画財政班 担当者

活動資金：補助金

担当教員(所属)：土田志郎(アグリビジネス学科)

活動体制(単位)：個人

関連教員(所属)：井形雅代(アグリビジネス学科)、石川森夫(醸造科学科)  
入江満美(国際農業開発学科)

活動目的：地域連携のもとで、大潟村の産業、環境保全並びに人材の育成に向け、  
産業振興、地域づくり等の分野において相互に協力する。

活動内容・成果：

### (1) 調査・研究関係

2022度は、新型コロナウイルスの感染拡大とその防止対策実施の関係で、昨年度同様、現地大潟村での調査・研究活動に関しては種々の制約があったものの、入江満美先生の担当された研究活動では、3名の学生の協力を得て、以下の成果をあげることができた。

まず、大潟村の籾殻をリン酸賦活させ燻炭処理し、それにアンモニア水を混合して肥料成分の付与と水分調整を行った後、ペレット化した。その際、最適水分量(アンモニア混合量)を求めることで、化学肥料の含有率と同程度の肥料を調整することができた。

今後は、肥料成分が徐々に溶出するように添加剤を加え、徐放性を持った農業廃棄物由来の肥料となるよう溶出試験を実施する予定である。



左から籾殻、リン酸賦活籾殻燻炭、アンモニア吸着リン酸賦活籾殻燻炭、ペレタイザー、ペレット化した籾殻燻炭試作品

## (2) その他

「人材の相互育成と教育に関する事項」では、国際バイオビジネス学科で行っている実地研修（2年次の5名の学生による約10日間の現地農業実習）を3年ぶりに再開することができた。

### 課題・改善点：

現時点において、2023年度の現地大潟村での調査・研究実施の具体的計画は作成できていないが、今後の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、必要に応じ、先方と協議するようになりたい。なお、入江先生の研究活動については、引き続き計画に従って実施する予定である。